Panasonic®

取扱説明書

保管用

エバーライト街路灯(Trest)（屋外用）

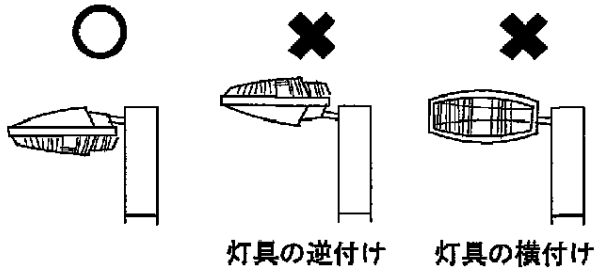
品　名	器具品番	アーム品番	適合ポール	適合ランプ
エバーライトXY5534 （ひとセンサ段調光タイプ）	YEV41591	YD564	モールライト用ポールYD3548CHN トクポールXY3719CHN トクポールXY3702HN	調光エバーライト50 （白色:YK99821）
エバーライトXY5535 （タイマー段調光タイプ）		YD565		

施工説明　工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

⚠警告

●施工は、取扱説明書にしたがい確実に行う。
　不備があると、落下・感電・発火の原因となります。
●器具を改造しない。落下・感電・発火の原因となります。
●振動や衝撃の多い場所、塩害地域、屋内プール、温泉地等の
　腐食性ガスの発生する場所では使用しない。
　落下・感電・発火の原因となります。
●灯具の逆付け、横付けは行わない。
　落下・感電・発火の原因となります。



灯具の逆付け　灯具の横付け

●接地工事は（D種接地工事）を確実に行う。
　接続に不備があると感電の原因となります。【電気設備技術基準】
●口出線との接続はスリーブ等により確実に行い、自己融着テープを巻いてから絶縁テープを巻いて仕上げ、十分に絶縁・
　防水処理をする。
　接続に不備があると感電の原因となります。

⚠注意

●この器具は一般屋外用（防雨型）器具です。それ以外の場所では、使用しないでください。
　落下・感電・発火の原因となります。
●60m／ｓ仕様です。これ以上の風速の影響を受ける場所では、使用しないでください。
　器具落下・ポール転倒の原因となります。
●表示された電源電圧(定格電圧±6%)・周波数以外の電源で使用しないでください。
　感電・発火の原因となります。
●周囲温度35℃以上での使用はしないでください。又、施工時の一時的な点灯確認以外の日中点灯はしないでください。
　発火およびランプユニットの短寿命・破損の原因となります。
●始動時に突入（インラッシュ）電流が発生します。弊社製配線器具に接続できる灯具台数は、承認図または次ページ『注１』
　を参照してください。
　接続に不備があると発火の原因となります。
●器具前方・後方には高周波が発生しますので、高周波利用機器との距離が4m以内になる場所には設置しないでください。
　高周波利用機器の誤動作の原因となります。

各部のなまえと取付方法

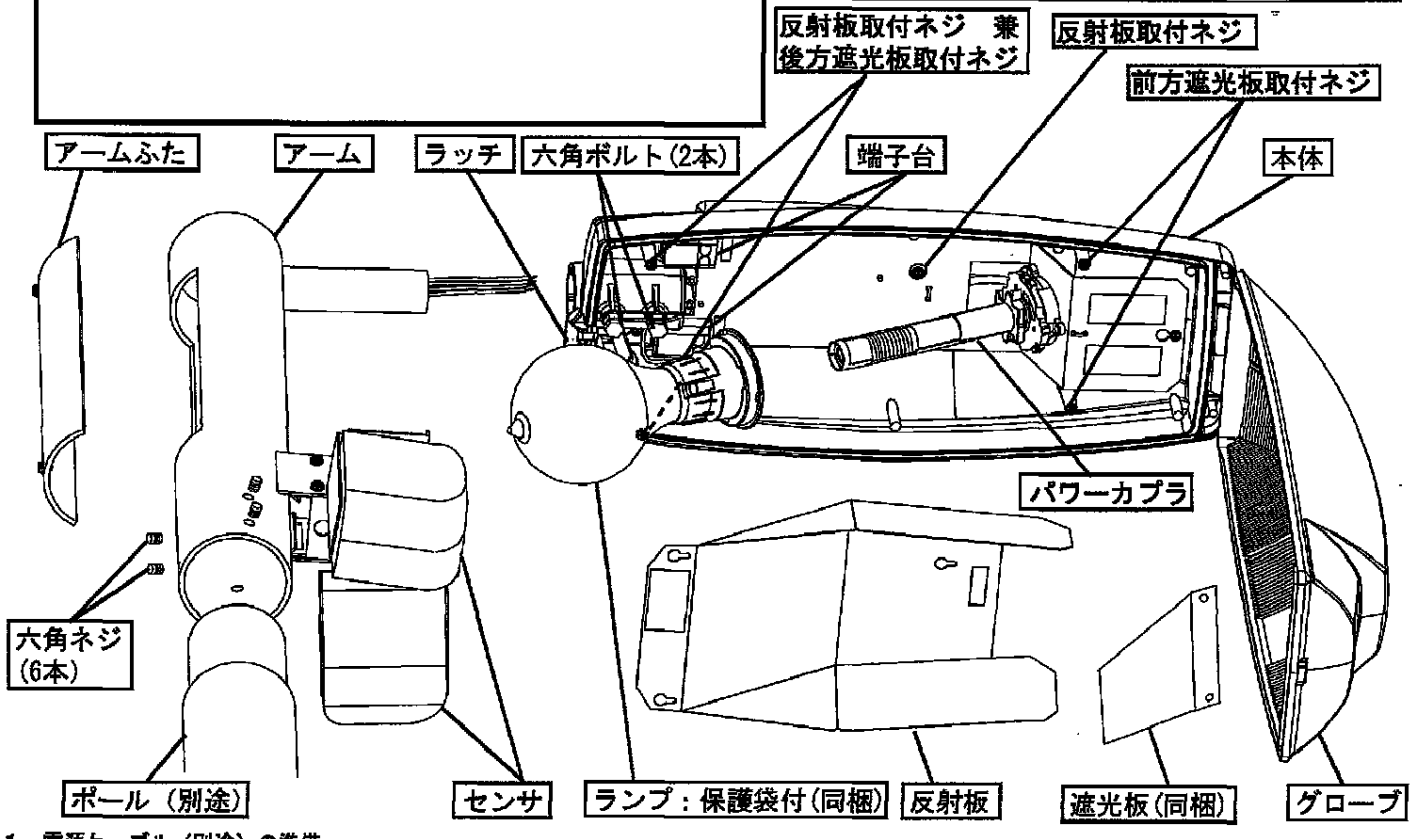
⚠ 警 告

⚠ 注 意

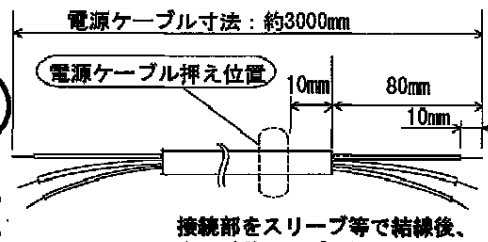
弊社製配線器具に接続できる灯具台数は下表を参照してください。注1)

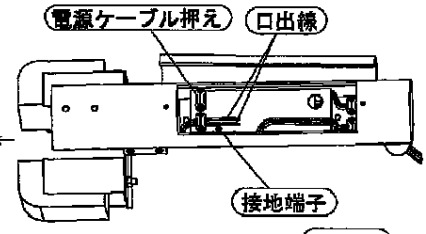
弊社製配線器具	AC100V	AC200V	AC242V
15Aフルカラースイッチ	16台	20台	16台
20Aフルパワーリモコンリレー	16台	34台	40台
T/U付6Aリレーユニット	6台	14台	16台
20Aリモコンブレーカ CL型	14台	28台	32台
20Aカンタッチブレーカ	14台	28台	32台
20Aコンパクトブレーカ	14台	16台	—
20A HAブレーカ	14台	28台	—
20Aリモコン漏電ブレーカCLE型	14台	28台	—
20Aカンタッチブレーカ BKFE型	14台	28台	—
20Aコンパクト漏電ブレーカ	14台	16台	—
20A小型漏電ブレーカ	14台	28台	—

接続に不備がありますと感電・火災の原因となります。



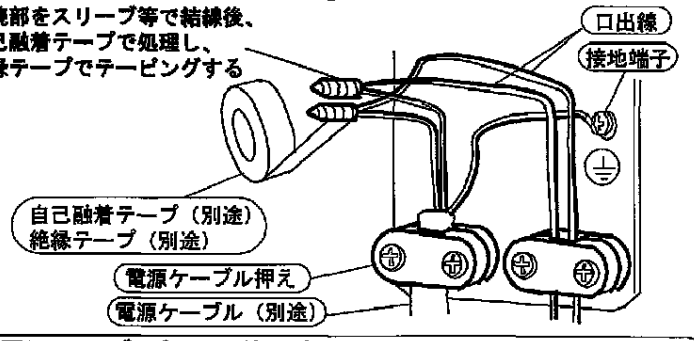
1．電源ケーブル（別途）の準備
約3000mmのケーブル（ポール内配線用）を準備し、先端部加工を行ってください。
（適合ケーブル：丸型　外径φ9.6mm～φ13mm
平型　6.2mm×9.4mm～7mm×15mm）





2．アームへの結線
・ネジを取り外し、アームふたを外してください。
・アーム内の口出線に電源線を接続してください。
接続は、スリーブ等により確実に行い、自己融着テープを巻いてから、絶縁テープを巻いて仕上げ、十分に絶縁・防水処理をしてください。
活線での作業は行わないでください。感電の原因となります。
・接地端子を使用してD種（第3種）接地工事を行ってください。
接地端子の推奨締付トルク（M4：1.2N・m）
接地が不完全な場合、感電の原因となります。
・電源ケーブルは電源ケーブル押えにて確実に固定してください。
電源ケーブル押えネジの締付トルク（0.8～1.2N・m）
不備があると、感電の原因となります。
・結線終了後、アームふたをネジにより確実に取付けてください。

接続部をスリーブ等で結線後、自己融着テープで処理し、絶縁テープでテーピングする



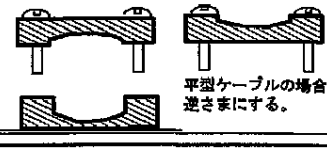
3．アームの取付け
設置されているポール先端より、電源線をポール内に落とし込み、ポール先端にアームを六角ネジ（6ヶ所）で取付けてください。
六角ネジの推奨締付トルク（M8：18N・m）
取付けが不完全な場合、器具落下の原因となります。

電源ケーブル押えの使用方法

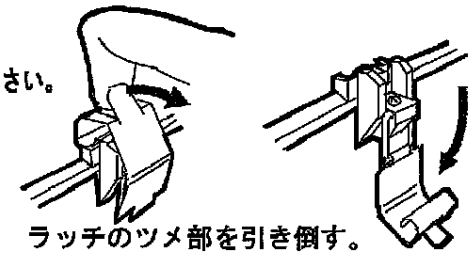
・電源ケーブル押えを取り外す。
・引き込む電源ケーブル（丸型または平型ケーブル）を選定する。
＊平型ケーブルを使うときのみ、電源ケーブル押えを逆さまにする。

◎丸型ケーブルの場合（梱包時は丸型ケーブル止めの状態になっています。）
外径（φ9.6mm～φ13mm）

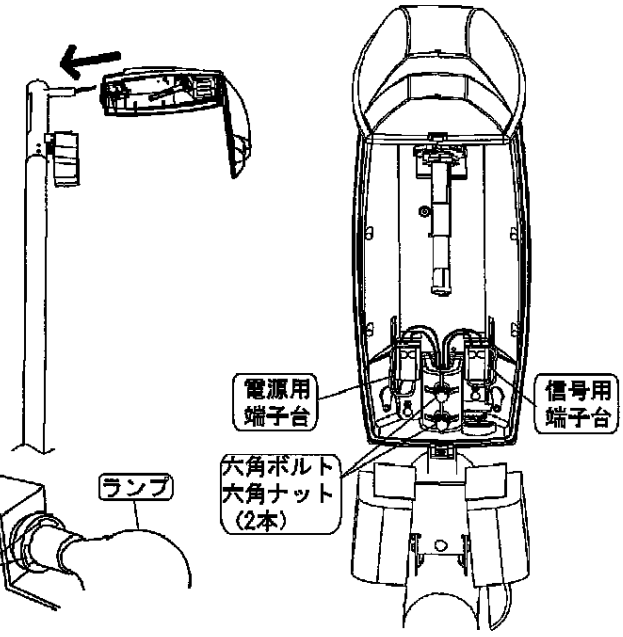
◎平型ケーブルの場合
外径（6.2mm×9.4mm～7mm×15mm）



4. 灯具の取付け
・ラッチをたおして、グローブを開いてください。
・反射板取付ネジ（3ヶ所）をゆるめて、反射板を取外してください。
・アームから出ている線を灯具に引き込みながら、灯具をアームに挿入してください。
・灯具の水平を保ちながら２本の六角ボルトで確実に固定し、六角ナットを締め付けて、緩み止めを行ってください。
六角ボルトの推奨締付トルク（M8：18N・m）
取付けが不完全な場合、器具落下の原因となります。


ラッチのツメ部を引き倒す。

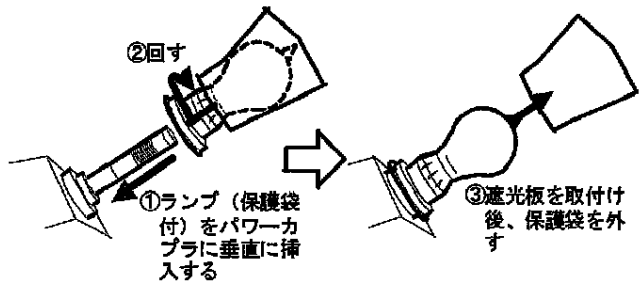
5. 灯具内の結線
・アームからの線を、ラベルに従って灯具内の端子台に結線してください。
端子ネジの締付トルク（0.8~1.0N・m）：トルクをかけすぎると端子台が破損しますのでご注意ください。
不備があると、感電の原因となります。
活線での作業は行わないでください。感電の原因となります。
誤結線がないようにしてください。器具故障の原因となります。



6. 反射板・ランプ（同梱）の取付け
・反射板取付ネジ（3ヶ所）により、反射板を確実に取付けてください。
反射板取付ネジの推奨締め付けトルク（M4：1.6N・m）
・ランプを保護袋が取付いた状態で、パワーカプラに装着してください。
保護袋がないとランプ破損時、ケガの原因となります。
・ランプをカチッとなるまで時計方向に回転させて取付け、ランプ装着確認用窓が閉じていることを確認してください。

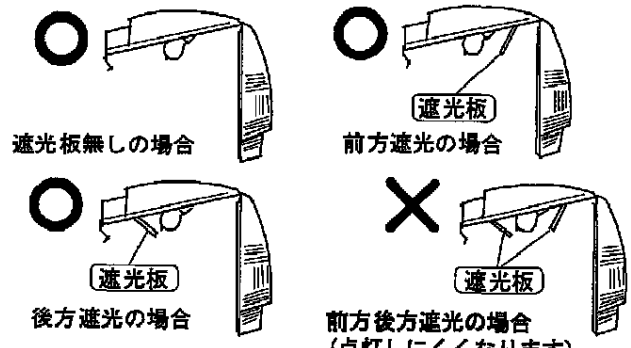
かん合・回転が不十分な場合、落下の原因となります。ランプ装着確認用窓
ガラス部を強く握らないでください。ランプ破損の原因となります。

7. 遮光板の取付け、ランプ保護袋の取外し
・用途に応じて遮光板（同梱）を下図の位置に取付けてください。
遮光板取付ネジの推奨締め付けトルク（M4：1.6N・m）
遮光板を別途取り寄せて、前方・後方の両方に取り付けないでください。
不点の原因となります。
・遮光板を取付けた後、ランプの保護袋を外してください。
外し忘れると、発火・発煙の原因となります。



8. グローブの固定
・グローブを閉じて、ラッチで固定してください。
グローブがラッチに確実に掛かっていることを確認してください。
不備があると、浸水・落下の原因となります。

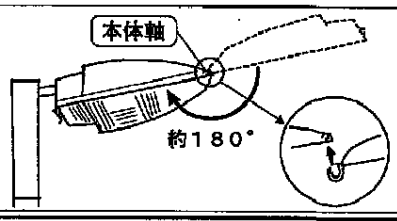
9. ポール内結線
・ポール開口部内で、電源線・アース線を接続してください。
不備があると、感電の原因となります。



10. 動作設定及びセンサ検知範囲の調整
・ネジを取り外し、アームふたを外してください。
・アーム内部のスイッチにより動作設定を行い、センサの検知範囲を設定してください（次ページ以降参照）。
[ご注意]灯具の電源を再投入するまで、設定の変更は反映されません。
・設定後、アームふたをネジにより確実に取付けてください。

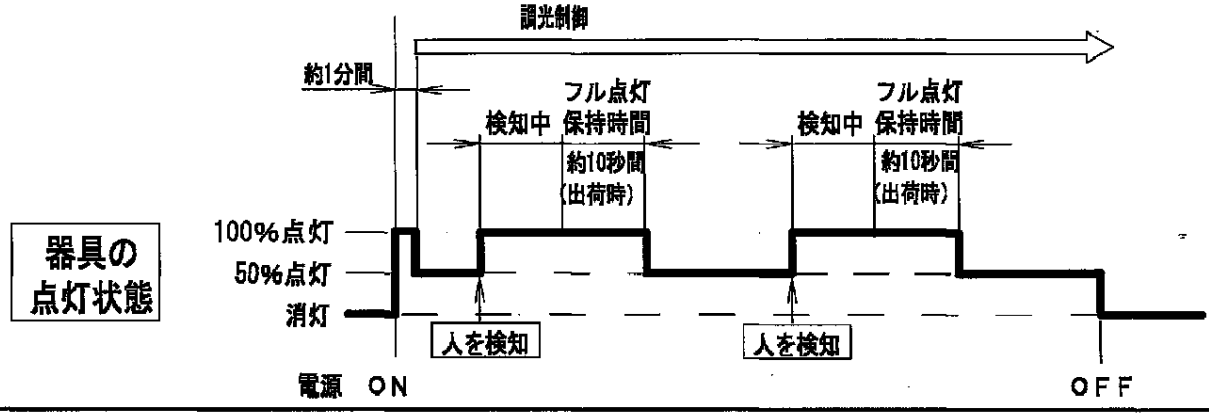
■初期点灯黒化について
点灯初期に発生する現象です。
管内の水銀がバルブ上部に付着することによって起こります。
点灯中は、温度の上昇によって水銀が蒸発し、黒化は消えます。
点灯後、再度黒化が発生することがありますが、点灯を続けることで黒化は減少します。
この現象は、ランプの寿命や特性には影響ありません。

グローブが外れた場合の取付け方
・グローブは一定方向のみで取付けられる構造になっています。
・右図の様にグローブを約 180° 開放した位置で本体に取付けてください。
・取付ける際、本体の軸がグローブ取付部に確実に入っている事を確認してください。
取付けが不十分な場合グローブ破損の原因となります。

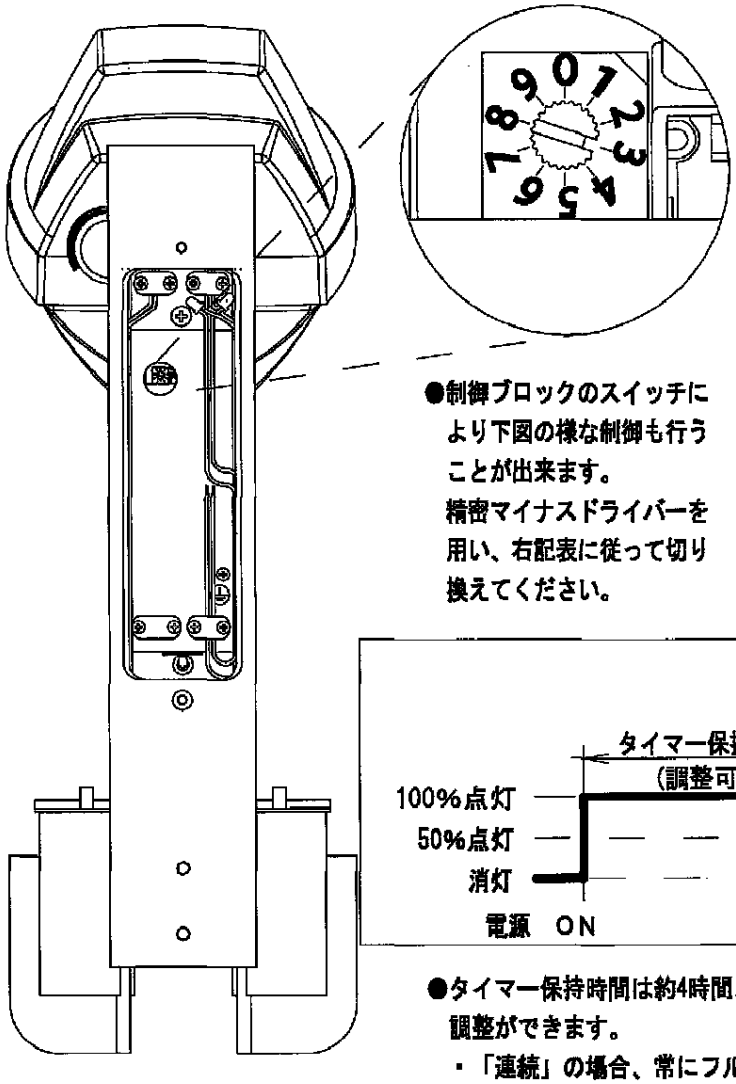


動作説明（XY5534）

●電源投入後、約1分間フル点灯し、調光制御を開始します。
　調光制御中は、センサが人を検知するとフル点灯になります。
●センサ検知範囲内で人が動いている間はフル点灯の状態が続きます。
●センサ検知範囲内に人がいなくなったり、静止するとフル点灯保持時間後、50%調光点灯に戻ります。



スイッチ操作説明（XY5534）



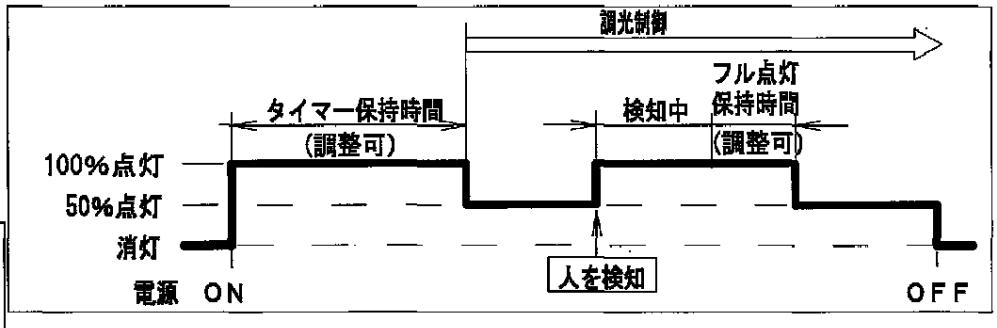
アームふたを取外した状態

●制御ブロックのスイッチにより下図の様な制御も行うことが出来ます。
精密マイナスドライバーを用い、右記表に従って切り換えてください。

●工場出荷時の制御ブロックスイッチは、
タイマー保持時間：約1分間
フル点灯保持時間：約10秒間
に設定しております（スイッチ番号3）。

動作モード

スイッチ番号	タイマー保持時間	フル点灯保持時間
0	約4時間	約10秒間
1	約6時間	
2	約8時間	
3	約1分間	
4	連続	－
~~5~~	（使用しません）	
6	約1分間	約1分間
7	約8時間	
8	約6時間	
9	約4時間	

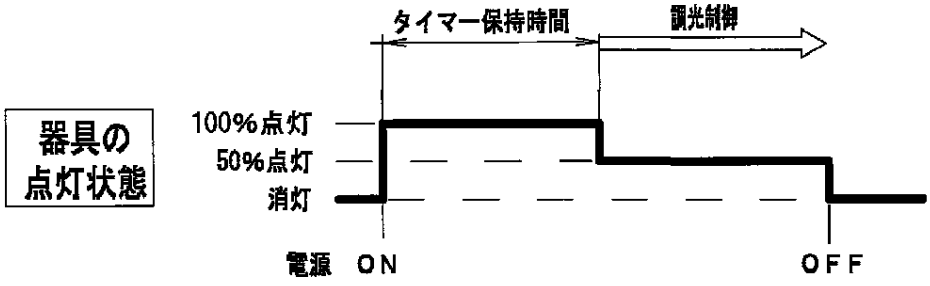


●タイマー保持時間は約4時間、約6時間、約8時間、約1分間、連続の5段階の調整ができます。
　・「連続」の場合、常にフル点灯です。
●フル点灯保持時間は約10秒間，約1分間の2段階の調整ができます。

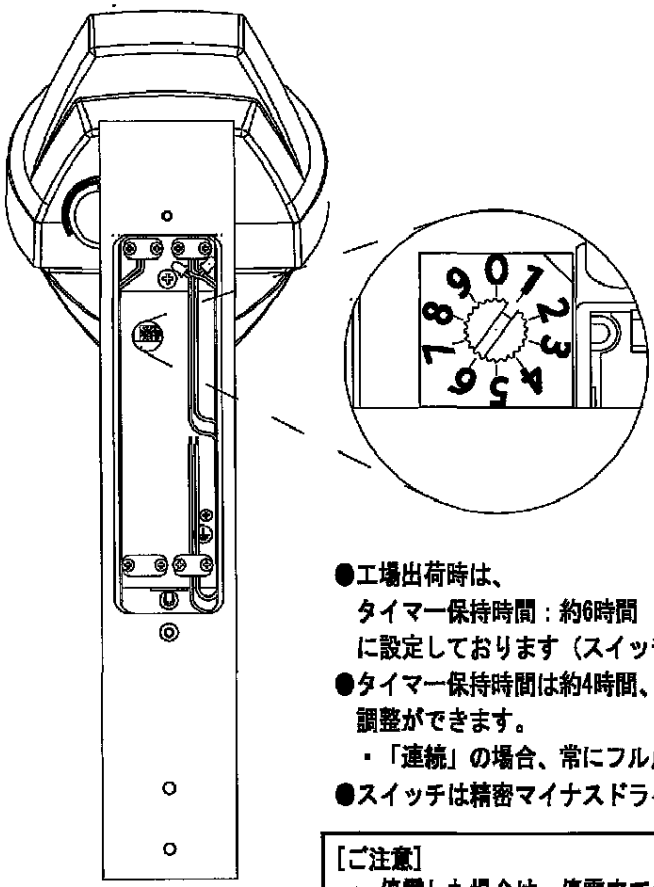
［ご注意］
・停電した場合は、停電までの動作を記憶しませんので動作がリセットされます。
・灯具の電源を再投入するまで、タイマー保持時間とフル点灯保持時間の設定変更は反映されません。

動作説明（XY5535）

●電源投入後、タイマー保持時間内はフル点灯し、その後、調光制御を開始します。



スイッチ操作説明（XY5535）



アームふたを取外した状態

動作モード

スイッチ番号	タイマー保持時間
0	約4時間
1	約6時間
2	約8時間
3	約1分間
4	連続
5	（使用しません）
6	
7	
8	
9	

●工場出荷時は、
タイマー保持時間：約6時間
に設定しております（スイッチ番号1）。

●タイマー保持時間は約4時間、約6時間、約8時間、約1分間、連続の5段階の調整ができます。
・「連続」の場合、常にフル点灯です。

●スイッチは精密マイナスドライバーを用い、上記表に従って切り換えてください。

［ご注意］
・停電した場合は、停電までの動作を記憶しませんので動作がリセットされます。
・灯具の電源を再投入するまで、タイマー保持時間の設定変更は反映されません。

センサの検知範囲（XY5534）

施工前のご注意

●センサの検知性能をより確実にするため、【センサ検知範囲】を参考に器具の取付位置・センサ角度を設定してください。
センサ部の最適取付高さは3.5mです。
●センサを3.5mより高い位置に取り付けた場合、検知感度が鈍くなることがあります。
また、3.5mより低い位置に取り付けた場合、検知範囲が狭くなることがあります。
●次のような場所には取付けないでください。
このセンサは温度変化を検知しますので、誤動作の原因となります。

1. 大理石など反射の強い床面のある所
2. 風などでよくゆれる植物などがそばにある所
3. エアコン（室外機）の吹き出し口、換気扇の近く
4. 検知の範囲内に交通量の多い道路がある場所
5. 前面に障害物のある所（透明なガラスでも遮断されます）
6. 振動の激しいポールなど不安定な所

使用上のご注意

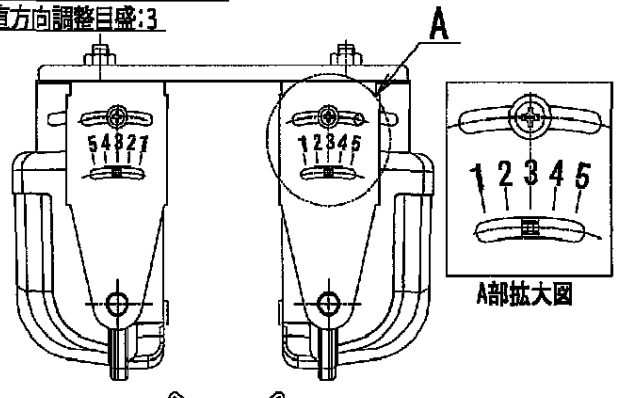
【センサの動作について】
●下記のような場合、検知動作することがあります。
1. 人以外の熱源（車両や犬、猫、鳥などの小動物）が検知エリアを横切る場合
2. 急激な温度変化（路面温度の変化や気温の変化）がある場合
3. 温度差のある風が検知エリアを横切る場合
4. 気象条件（にわか雨、雪、台風、北風、雹、霧など）による温度変化がある場合
5. 樹木などのゆれるものが検知エリアにある場合
6. センサのすぐ側を昆虫が飛んだり、センサ部にとまった場合
7. 強力な無線電波がある場合
8. 雷、ヘッドライトなど強力な光が直接センサに当たる場合

●下記のような場合、検知動作しないことや感度が鈍くなったように感じるときがあります。
1. 人と周囲の温度差が低い場合
（傘をさしている人、合羽、防寒着を着ている人、気温の高い夏期など）
2. 検知エリア内に人がいても動かない場合
3. センサに向かって真 っすぐ近づく場合
4. ほこり・風雨・風雪でセンサのレンズ面が汚れた場合
（センサのレンズ面の汚れは、柔かい乾いた布などで、傷を付けないよう拭き取ってください）
5. 霧など熱線を透過しにくい気象条件の場合
6. 検知エリアを遮られた場合（大型 車両の駐停車など）
7. 雷や強力な無線電波でセンサが破壊した場合

●工場出荷時は、標準センサ角度（水平方向調整目盛：1 / 垂直方向調整目盛：3）に設定しております。

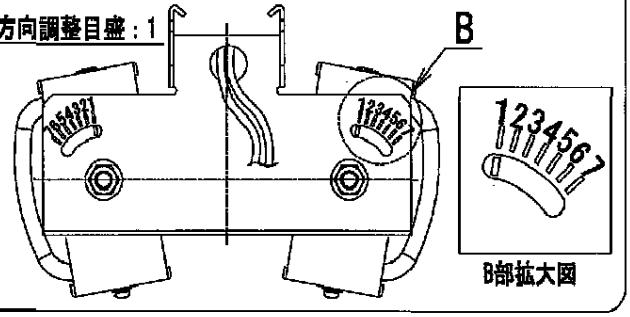
標準のセンサ角度設定

垂直方向調整目盛:3



A部拡大図

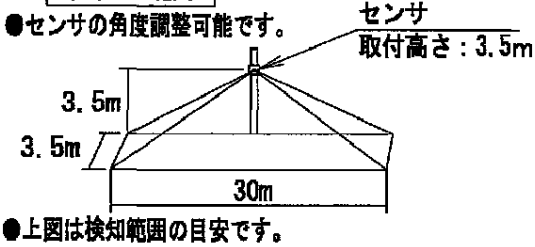
水平方向調整目盛：1



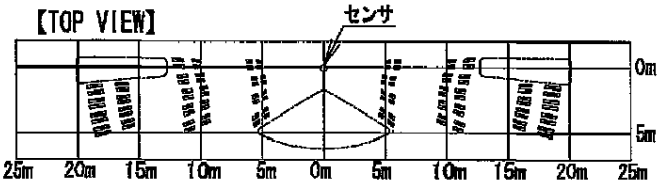
B部拡大図

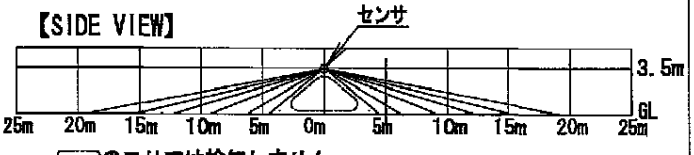
標準検知範囲

●センサの角度調整可能です。



●上図は検知範囲の目安です。
●範囲内の全てのポイントでセンサが検知する訳ではありません。
下図に示した黒い部分を熱源が横切った場合に動作します。

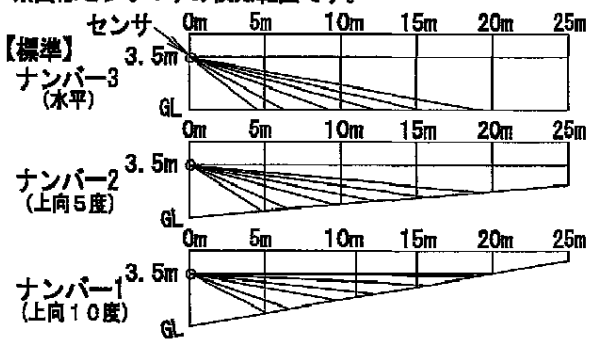


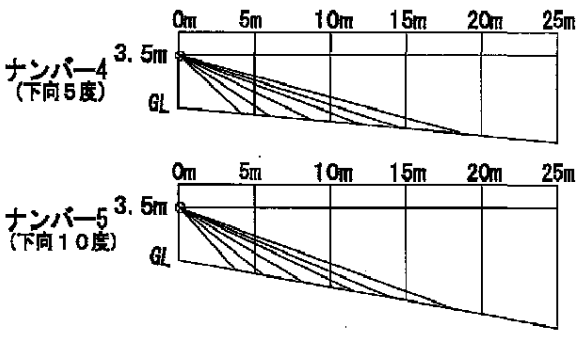


□のエリアは検知しません。

垂直方向調整（1～5）による検知範囲の変化（ＳＩＤＥ VIEW）<A部>

※水平方向は【標準】のナンバー１に設定した場合です。
※図はセンサ１ヶの検知範囲です。



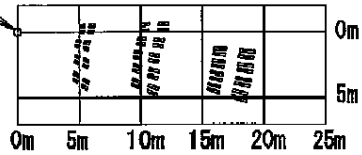


センサの検知範囲（XY5534）

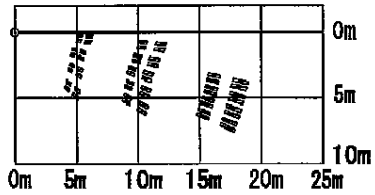
水平方向調整（1~7）による検知範囲の変化（TOP VIEW）<B部>

※垂直方向は【標準】のナンバー3に設定した場合です。
※図はセンサ1ヶの検知範囲です。

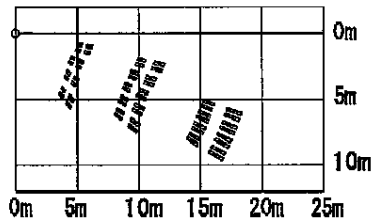
センサ
【標準】
ナンバー：1



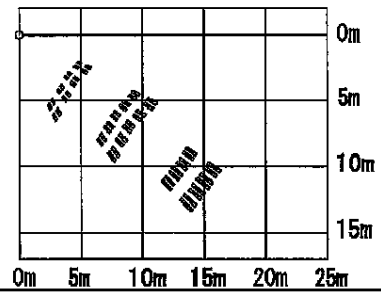
ナンバー：2



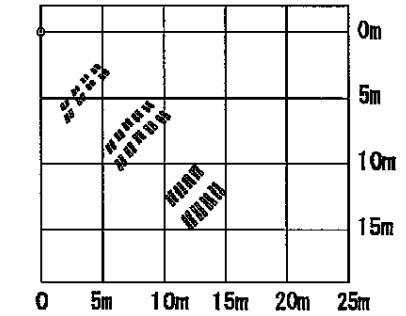
ナンバー：3



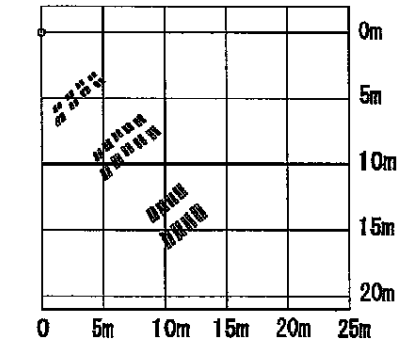
ナンバー：4



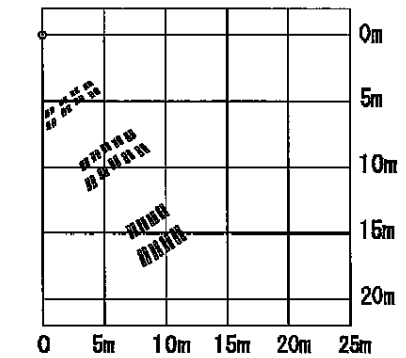
ナンバー：5



ナンバー：6



ナンバー：7



[ご注意]
・灯具の電源を再投入するまで、センサ検知範囲の設定変更は反映されません。

取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠警告

●器具の改造および構成部品の交換をしない。感電・発火の原因となります。
●万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。
感電・発火の原因となります。
●かけやひび割れの発生しているグローブは使用しない。落下・感電・発火の原因となります。

⚠注意

●お手入れの際には、必ず電源を切ってから行ってください。
感電・やけどの原因となります。
●照明器具には寿命があります。設置場所により環境ストレスはことなります。ご使用期間が15年に満たなくても発錆があればすぐに点検・交換をしてください。また、設置して15年※経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。
点検・交換を行なってください。※使用条件は周囲温度30℃、1日12時間点灯、年間4400時間点灯です。
●周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
●アクリル製グローブは、太陽光の紫外線によって劣化します。設置後10年を超える場合は、工事店等の専門家による
クラックの有無点検をお受けいただき、異常がある場合は交換をしてください。
●1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災などに至る場合があります。

取説No.YEV41591-T4

故障かなと思ったときは

（現象）	（考えられる原因）	（処置）
検知範囲内に人がいるのにフル点灯しない	検知範囲の設定が適切でない センサ周りに障害物がある	センサ部取付を調整する
	器具に向かって真っすぐ接近している	本センサは左記の場合検出しにくい場合があります
	検知部（センサレンズ）が汚れていたり、蒸気や雨などの水滴がついている	検知部（センサレンズ）を柔らかい布で傷がつかないようにふきとる
	寒冷地などで顔がマフラーで覆われていたり、手袋をしている	本センサは人の動きによる温度変化分を検出するため左記の場合検出しにくい場合があります
	雨の日に傘で顔や手が隠れている	
	検知範囲内で人が静止している	本センサは静止している人は性能上検出できません
	器具直下付近で立ち止まっている	本センサは器具直下付近で静止している人は性能上検出できません （センサ検知範囲【SIDE WIEW】参照）
フル点灯したまま減光しない	検知範囲内に人がいる	検知範囲外に移動する
検知範囲内に人がいないのにフル点灯する	検知範囲内に誤動作源がある 例）他の照明器具、車の熱やヘッドライト、風などでよく揺れるもの(看板、旗、植木等)、犬や猫等、エアコン（室外機)の吹き出し口、無線等	誤動作源を取り除く センサ部取付を調整する
	検知範囲の設定が適切でない （不要な箇所まで検知している）	センサ部取付を調整する

保証について

1:保証について
この商品の保証期間は1年間です。エバーライトユニットは3年間です。
但し、消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
2:保証書について
保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
3:補修用性能部品について
弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年間保有しています。
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れについて

⚠注意

●必ず電源を切って、器具が十分に冷えてから行ってください。
感電・やけどの原因となります。

●器具の清掃について・・・汚れを落とす場合は、石けん水にひたしたやわらかい布をよく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げてください。
アルカリ系洗剤、シンナー、ベンジンでふかないでください。
変色・変質の原因となります。
強い水圧をかけての清掃はしないでください。
感電の原因となります。

●ランプについて・・・・・万一、衝撃などにより、ランプが破損してしまった場合のランプ補修は、販売店・電気工事店にご依頼ください。

定　格

品　名	電圧	入力電流	消費電力	周波数	ランプ電力
エバーライトXY5534	AC100—242V	0.58—0.24A	57—55W	50Hz/60Hz共用	50W
エバーライトXY5535					

パナソニック株式会社　施設・店舗照明ビジネスユニット　〒571-8686 大阪府門真市門真1048
お問い合わせ先　パナソニックお客様ご相談センター　0120-878-365（フリーダイヤル）　0120-878-236（FAX）
MN0608-040112